

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/01/03

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	34.40	0.13
JPY/THB	0.2184	0.0008
USD/JPY	157.50	0.26
EUR/THB	35.32	-0.16
EUR/USD	1.0265	-0.0091
USD/CNH	7.340	0.004
SGD/THB	25.12	0.03
AUD/THB	21.34	0.16
USD/INR	85.76	0.11
USD Index	109.39	0.91

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.075	-0.020
10Y (THB)	2.310	0.006
5Y (USD)	4.370	-0.012
10Y (USD)	4.559	-0.010

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,669.0	28
WTI (Oil)	73.13	1.41
Copper	8,802.5	34.5

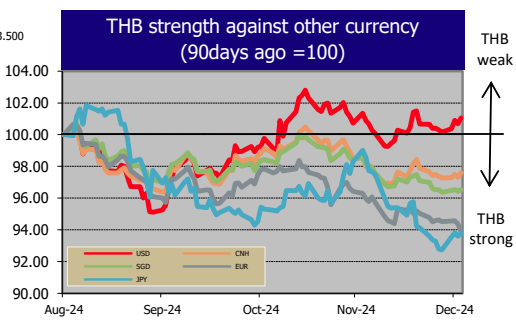
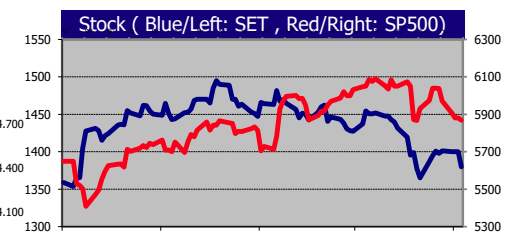
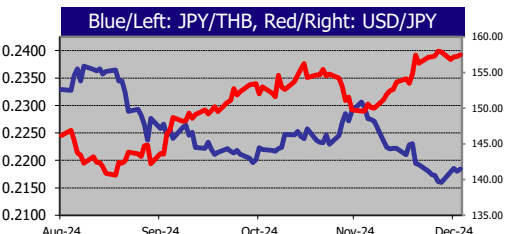
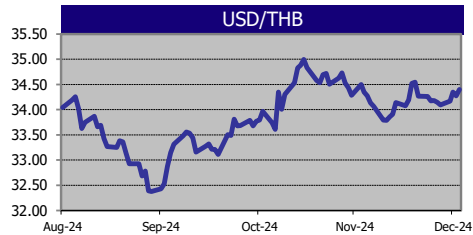
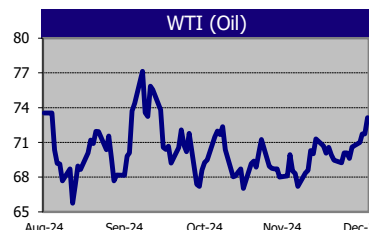
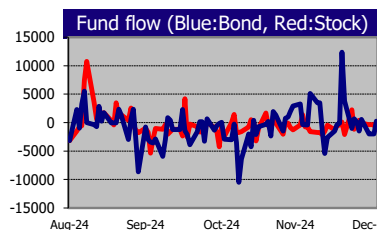
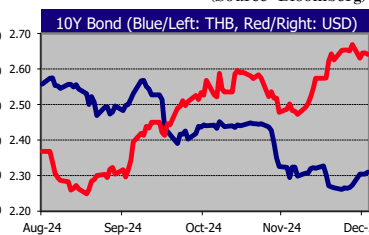
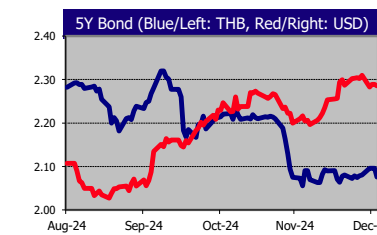
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,379.85	-20.36
NIKKEI (JP)	39,894.54	0.00
DOW (US)	42,392.27	-151.95
S&P500 (US)	5,868.55	-13.08
SHCOMP (CN)	3,262.56	-89.20
DAX(GER)	20,024.66	115.52

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(1,258)	-897.2
Bond net flow	241	2222.8

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは上昇。34パーツ台前半の水準で取引を開始。バンコク時間午前中、ピチャイ・タイ財務相よりタイ中銀会長職に係る人事について言及された場面では下押しされるも、勢いは限定的となり、以降は底堅く推移。海外時間に入ってからもしじりりと上昇を続けていたドルパーツは、低下していた米金利が上昇に転じるのを横目に34パーツ台半ばまで上昇幅を拡大させると、そのまま34.40レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

昨日のドル円は小幅に上昇。157円台後半で取引を開始すると、東京休日となる中、上値重く推移。中国株の軟調な推移も相俟って一時156円台半ばまで下落する場面を見せた。ただ、同水準では下げ止まり、海外時間に入ると、米金利上昇を背景に157円台に戻し、一時157円台後半まで上昇幅を拡大させる展開に。終盤にかけては動きは一巡。157円台半ばまで戻すと、157.50レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

年明けの為替相場はドル高で始まった。まだ東京の市場参加者が休暇中なこともあり、相場の方角感を探るには難しい局面ではあるが、今月はトランプ次期大統領の就任を前に、ドルロングのポジションを作ろうとする動きが強まる可能性はありそうだ。他通貨の状況としては、輸出依存度の高い欧州経済が米国による追加関税で打撃を受けるとの懸念からユーロ売りが進んでいるほか、中国株が大幅安のスタートとなり、年初取引としては2016年以来最大の下落率を記録、人民元には売り圧力が強まりオフショア人民元が下落している。中国については年末に期待されていた景気刺激策がなかったことや、予想を下回った12月製造業PMIなど国内要因もあるが、そうしたことの背景には両国の関税合戦への懸念も少なからずあったのだろう。今年の相場は米国の通商政策の動向に左右されそうなのが年初一日の動きからも垣間見える。そして今年の金融市場のもう一つの注目は日銀の動向となろうか。過去30年未踏の政策金利領域まで利上げを進められるか、まずは1月の判断に耳目が集まる。20日にトランプ大統領の就任日を迎え、グローバルに不確実性も高まる中で難しい判断となりそうだが、ここの判断が今年の円相場の行方を占う気配がしてならない。今年はトランプ大統領の政策運営が注目を浴びる機会が多そうだが、転換期を迎えている日本経済、日銀の動きも例年以上に注意を払っておきたい。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.